

「がん」について学ぼう！話そう！

支えあう会「a」主催の連続講座も5年目を迎えました。
本年度も、様々な疾患、分野の専門家を講師としてお招きしています。
ご自身の病気とは違うテーマであっても、どのようにがんと向き合い、医療と向き合っていけばいいのか、共に考える「場」となるようにという願いを込めた連続講座です。皆様のご参加をお待ちしています。

第1回
7月6日（日）

「泌尿器癌の手術療法」
-腎がんを中心に-



駒井好信さん

国立がん研究センター
東病院
泌尿器・後腹膜腫瘍科

第2回
10月5日（日）

「がんとつきあいながら
自宅で暮らす」
-訪問看護の可能性-

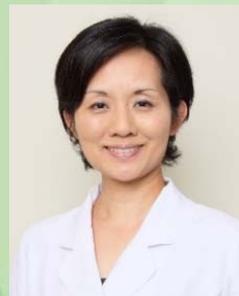


宮崎友見子さん

さんむ医療センター
訪問看護ステーション
看護師

第3回
12月7日（日）

「緩和ケアの目指す
ところと社会の理解」



有賀悦子さん

帝京大学医学部附属病
院 緩和ケア内科

第4回
2月1日（日）

「骨・筋肉のがんと
言われたら」
-肉腫と骨転移がんについて

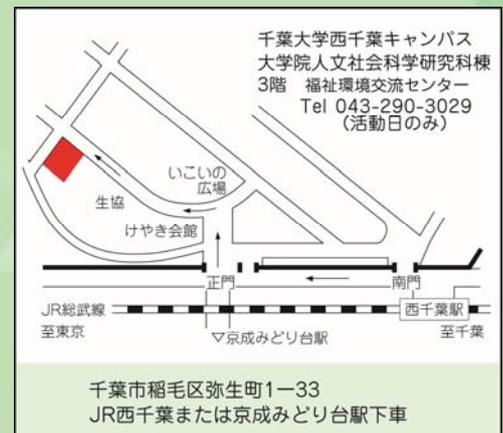


岩田慎太郎さん

千葉県がんセンター
整形外科

- 【定員】 30名（当日参加は要問合せ）
【時間】 13：30～16：30 （13時受付開始）
【申込】 FAX・メール・電話
【受講料】 会員：無料
一般：1講義 1000円（参加費+資料代）
【主催】 NPO法人 支えあう会「a」
〒260-0802
千葉市中央区川戸町518-7
電話：090-9317-8488
FAX：043-308-5411
メール：info.alpha.chiba@gmail.com

【会場】 千葉大学西千葉キャンパス



【日程・講師プロフィール】

<p>第1回 7月6日 (日)</p>	 駒井 好信さん	<p>神奈川県藤沢市生まれ、茅ヶ崎市育ち 阪神ファン 2001年、東京医科歯科大学卒業。同大学医学部附属病院で研修後、 2004年、癌研究会付属病院（現がん研有明病院）泌尿器科を経て、 2011年、国立がん研究センター東病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科医員。 腎癌を中心とした泌尿器科悪性腫瘍に対する手術治療が専門。 最近では、患者の手術に対する理解を深めるため、3D 画像や 3D プリンターを用いた術前説明を行う。癌治療ではほとんどの場合、 治療により「失われるもの」がある。治療方法や術式を決める際 にはそのメリット・デメリット双方を伝えるよう心がけている。 「遠慮なく、泌尿器科癌のことなら何でも聞いて下さい」</p>
<p>第2回 10月5日 (日)</p>	 宮崎 友見子さん	<p>1991年、保母として宇宙あそびむらに2年弱勤務した後、東京都立 虚弱児施設に勤務。1995年、千葉看護専門学校、千葉県医療技術大 学を卒業。1999年から看護師として働き始める。緩和医療に興味を もち、上智大学コミュニティカレッジでアルフォンス・デーケン氏、 小澤竹俊氏らに学ぶ。現在、さんむ医療センターの訪問看護ステ ーションに勤務し6年目になる。希望すれば最期まで住み慣れた家、地 域で過ごせるようにと願い、緩和ケアチームの一員として地域の在 宅緩和ケアの普及に力を入れている。2008年、緩和ケアチーム有志 とおしゃべりサロン「鈴の会」を発足し現在に至る。</p>
<p>第3回 12月7日 (日)</p>	 有賀 悦子さん	<p>1987年、筑波大学を卒業。東京女子医科大学腎外科の後、1993年 アメリカシガン大学腫瘍外科学にて乳がんと腎がんのがん遺伝子 治療・免疫療法研究に従事しながら、在宅緩和ケア研修。1996年帰 国後、国立がんセンター東病院、東京女子医科大学、国立国際医療 （研究）センター等で緩和ケアの診療・人材育成に従事。2013年4 月に医学部では数少ない緩和医療学講座を開設し、教授・診療科長 として統括。入院であれ通院であれ、患者ががん治療に取り組みな がら今までの生活がおくれる様、緩和ケア医としての診療に日々取 り組みながら緩和ケア人材育成の指導的立場で活動を続けている。</p>
<p>第4回 2月1日 (日)</p>	 岩田 慎太郎さん	<p>1997年筑波大学卒業後、東京女子医科大学整形外科教室に入局。 そこで骨肉腫の患者さんを受け持ったことで骨軟部腫瘍の治療に興 味を持ち、2003年に千葉県がんセンターでの研修を開始。以来がん の骨転移を含む骨軟部腫瘍の治療と研究に従事。治療では手術と化 学療法を、研究では遺伝子解析を担当。偉大な二人の師から学んだ 「難しいことを簡単に」と「まず患者を撫でよ」をモットーに日々 診療、研究に精力的に取り組んでいる。 骨軟部肉腫は希少がんと言われているが、がんの骨転移は多くのが ん患者に共通する不安であり大きな問題のひとつ。骨転移の診断や 治療に整形外科がどのように関わっているのかについても紹介する。</p>

【参加申込票】

以下に必要事項を記入の上FAX又は郵送にてお申込み下さい。メールは本文に項目をご記入下さい。

氏名		講座	開講日	希望日に○
立場		第1回	7月6日	
住所		第2回	10月5日	
電話・FAX		第3回	12月7日	
E-mail		第4回	2月1日	